

音瀬大朴毛埋

黒紅



なみほえたけり、
くもきりたてど、
ゆくえをさやに
しめさせたまえ

(賛美歌519番 2番

より)

気まぐれ茶会

白藍色の空が見えたら
人魚姫を呼ぶの

真赤な苺を一粒食べて
荒い海を声で満たす

甘い声は
現実かもしれない

灰青色の空が見えたら
かぐや姫を招くの

香に一滴の涙を混ぜて
長い文を交わす

甘い匂いは
現実かもしれない

濡羽色の空が見えたら
白雪姫を誘うの

苦い紅茶を飲み干して
静かな眠りに落ちる

甘い夢は
現実かもしれない

東雲色の空が見えたら
あなたに会うわ

かくれんぼ

かくれんぼ

ねえ、誰が鬼？
まずはリーダーからだよ

じゃんけんしないの？
うん、しないよ

リーダーが鬼

もういいかい？
まーだだよ

どこに行こうか
どこに紛れようか

もういいかい？
まーだだよ

応えたら、見つかるよ
応えなくても、見つけてね

もういいかい？

宵闇に鳴る

宵闇に鳴る

鈴を振る

ひとり、夜に立って

暗く重い空間を刺すかのように
紛れてしまった何かを捜すかのように

リーン

ゆっくりと
確実に

リーン

じっくりと
慎重に

淀みうずくまった空気を流すかのように
清く敏い何かを成すかのように

ひとり、現に去って
鈴を振る

限定劇場

会場

演目

開演

すべて未定

告知はしない

役者は2人

観客はいつもゼロ

SOLD OUTは見込めない

見世物は演らない

それが唯一絶対のルール

歩いては目配せ

座っては俯く

笑ったら疑い

泣いたら触れる

話しては近寄り

悦に入れば遠退く

クライマックスは諍いごと

エンディングは分岐式

終盤だけが伝播する物語

確認

確認

繋ぐ手を見詰めて
握り返して
体温を測る

注ぐ視線を逸らして
元に戻して
距離を許す

あと少し

その瞬間を私に
その感情を私に

もう少し

到達点を間違えては
終わりが見えてしまう

ちょっと待って

あなたは何処を見据えているの？

判断

判断

気に入らないものは沢山在る
気に入らないものが沢山見える

気に入るものは少しだけ在る
気に入るものが少しだけ見える

黒か白かの2択なら
あたしは灰を選ぶ

衣食住の3択なら
あたしは3分の1を3つ集めて1にする

悪いという基準値は
あたしの中には無い
外から輸入して、それに準じる

あたしに言えるのは1つだけ

拒まないことは
あたしにとって
善くて、好いということ

存在開示

問題：証明せよ

これが
与えられた問題のすべて

回答時間：無制限

回答形式：自由

とりあえず
A4サイズの真白な紙を取り出して
その1番上に名前を書く

同じ名前の人がいるかもしれないから
特定できそうな項目を
事務的に並べてみる

性別
生年月日
血液型
出身地
出身校

そこまで書いて
付け加えたすべてを
消した

どれもこれも
僕では証明が出来ない

ショウメイセヨ

僕に何が証明できる？

ひとつずつ

言葉にして 声に出して

書き出していく

思うことを

ひとつずつ

言葉にして 声に出して

吐き出していく

想うことを

書いたものは証明書

吐いたものは証明力

名前だけ消さなかったのは

呼び名がないと困るから

ただ、それだけ

黎明に狩る

君は手に負えない

あまりに過激で

あまりに斬新で

あまりに保守的

望まれるままに振舞えるほど

万能じゃないんだ

せめて

僕が傍に居て

君の一部を満たしてあげる

君は手に負えない

平均値を求める数式のように

処理が出来ない

だから

僕が傍に居て

君のすべてを乱してあげる

こおりおに

鬼に捕まったら
氷漬け
リアリティを求めて
息を止める

身動きは死
呼吸も死
まばたきは許容範囲
頼りの酸素は肺の中

思い切り走って
逃げて 逃げて

突然
酸素の取り込みが禁止される

苦しい
苦しい
苦しい

31、32、33・・・

博物館に展示されていた
鳥の剥製は
どれほど本物と違うのだろうか

「タッチ」

呼吸が出来た
ありがとう

さあ、今度は
捕まるのなら
誰かの近くにしておこう

他人を視界に入れて
ひたすら逃げる

変わらぬ速度

時計の針が進む
身体に流れる時間を無視して
時計の針が刻む

何を？

実のところ
時計は何も刻んでいやしない

都合良く
わかりやすく
ただ、分割して標を打っているだけ

誰かと誰かが
約束を作れるように
ちゃんと出会えるように

誰かと誰かが
何かを共有するために
ちゃんと出会えるように

ねえ、いま何時？